

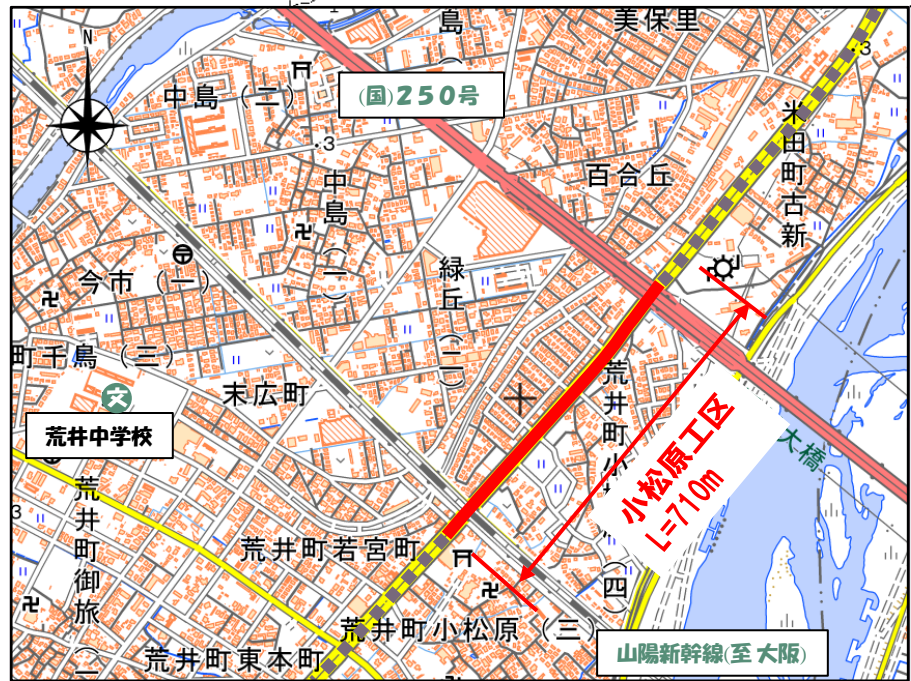
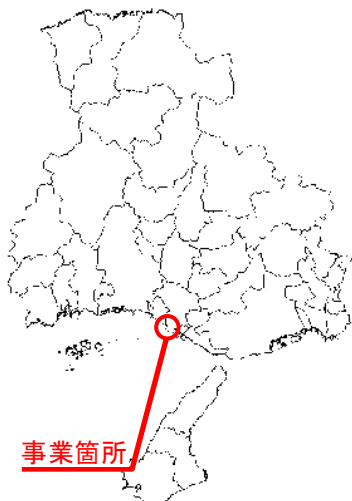
事業概要

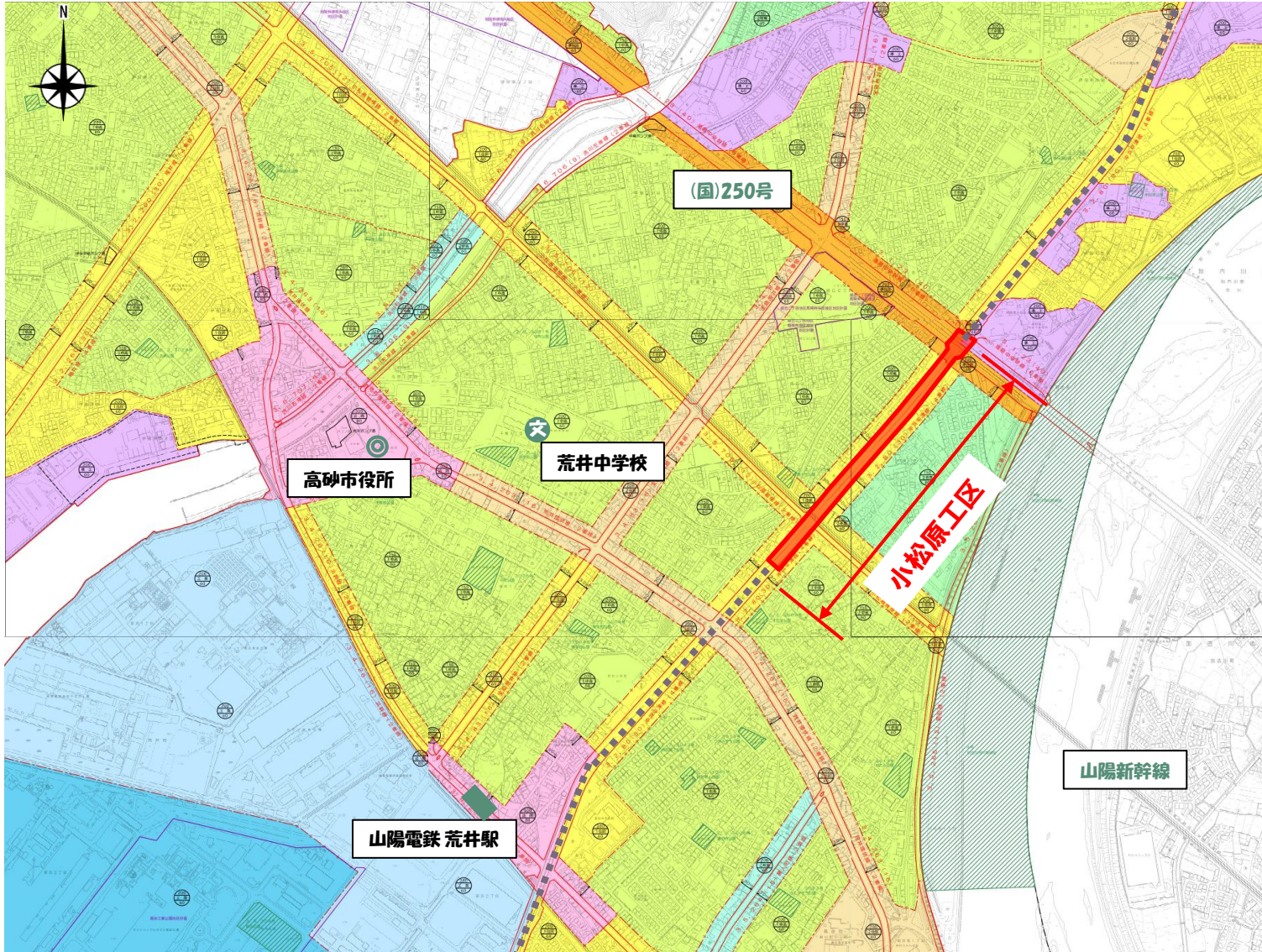
(兵庫県：(都) 沖浜平津線)

応募No.	14		
事業主体	兵庫県	事業箇所	兵庫県高砂市荒井町若宮町 ～小松原町5丁目
応募者名	兵庫県土木部道路街路課		
ふりがな 事業名称	としけいかくどうろ おきはまひらつせん こまつばらこうく 都市計画道路 沖浜平津線 (小松原工区)		
事業概要 (400字以内)	<p>本事業は、高砂市の東部で臨海部と国道2号バイパスを結ぶ都市計画道路であり、東播磨地域の南北交通を担う重要幹線道路である(都)沖浜平津線において、渋滞交差点の解消等を目的として、平成20年に事業認可を取得し、4車線化の拡幅整備、交差点の改良等を実施した。</p> <p>本路線の沿線には、小中学校、高校が立地しているため歩行者が多く、移動手段としても広く自転車利用されているにも関わらず、自転車道及び歩道が未整備であった。</p> <p>本整備により、昭和63年の荒井地区の供用から約30年を経て(都)沖浜平津線(L=4,580m)は全線開通となり、渋滞交差点の解消、自転車・歩行者の安全性の向上や広域ネットワークの形成(緊急輸送路の機能強化)が図られた。また、事業実施期間中に発出されたガイドラインに基づき、自転車道及び歩道の計画を見直し、県内では先進的な取り組みとして、自転車道と歩道を分離したことにより、自転車、歩行者の通行の安全が確保された。</p>		
事業規模	事業延長(km)	約0.7km	
	幅員(m)	13.0m(30.0m)	
	事業期間(和暦)	平成20年度～平成29年度	
	事業費(億円)	約30億円	
受賞歴	有・ <input checked="" type="radio"/> 無		
URL	https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks04/documents/r02-j-02-okiamahiratsu.pdf		

事業位置図

(兵庫県：(都) 沖浜平津線)





凡例

区域界などの表示

項目	表示方法
行政界	---●---
市街化区域界	—
用途地域界	—
地形地物による適合	—+—
その他の適合	—+—
容積界	---●---
外壁の後退(1.0m)	---●---

区域界などの表示

用途地域の種類	表示色・略称
容積率(%) / 建ぺい率(%)	
第1種低層住居専用地域 100/60・150/60	1低専
第2種低層住居専用地域 150/60	2低専
第1種中高層住居専用地域 150/60・200/60	1中高
第2種中高層住居専用地域 200/60	2中高
第1種住居地域 200/60	1住居
第2種住居地域 200/60	2住居
準住居地域 200/60	準住居
近隣商業地域 200/80・300/80	近商
商業地域 400/80	商業
準工業地域 200/60	準工
工業地域 200/60	工業
工業専用地域 200/60	工専

表示方法

容積率(%)	→ (200)
用途地域	→ (1住居)
建ぺい率(%)	→ (60)

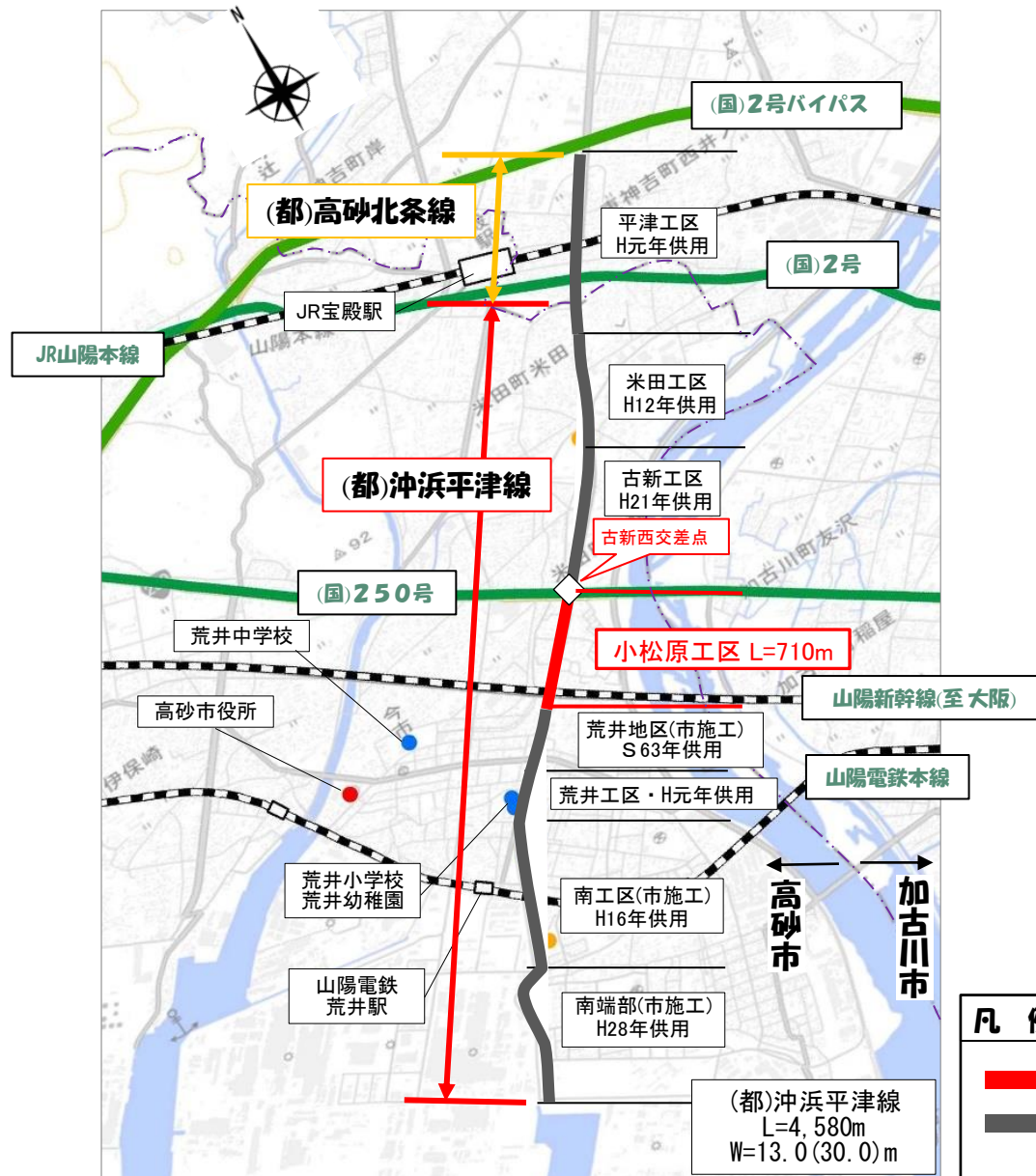
凡例

その他

項目	表示方法
公園・緑地・墓園	—
地区計画	—
都市計画道路	—
臨港地区	---
準防火地域	---
その他の都市施設	—

路線全体の進捗状況

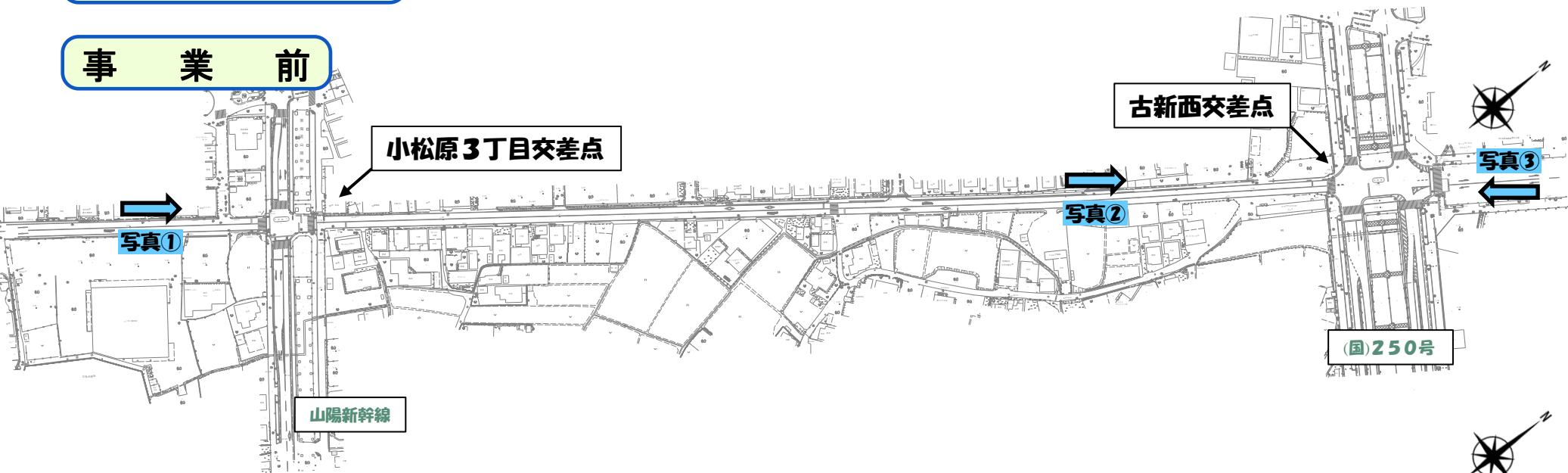
(兵庫県：(都) 沖浜平津線)



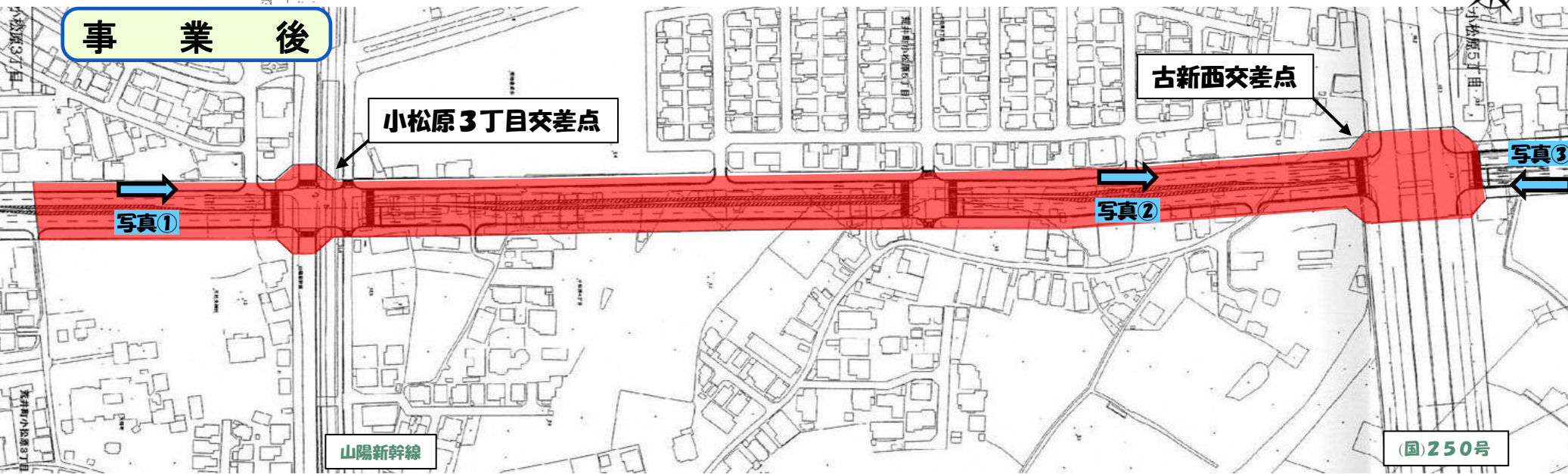
凡例	
■	今回応募区間
■	施工済区間(完成区間)

平面図

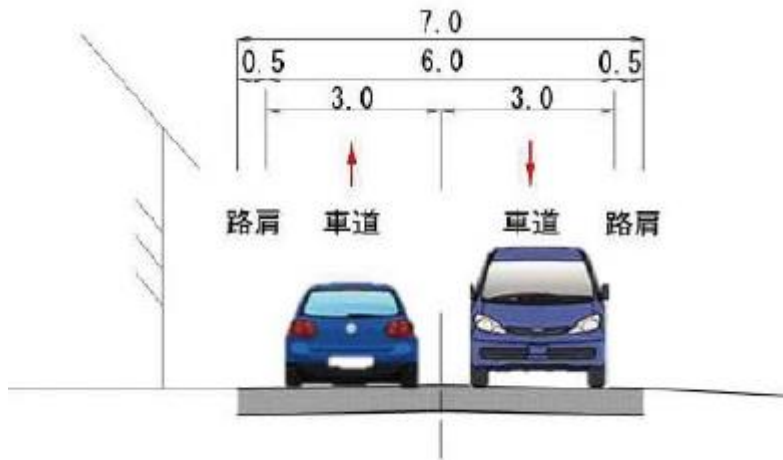
事業前



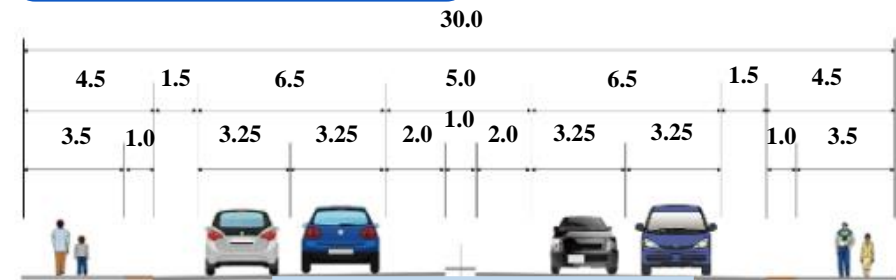
事業後



事業前



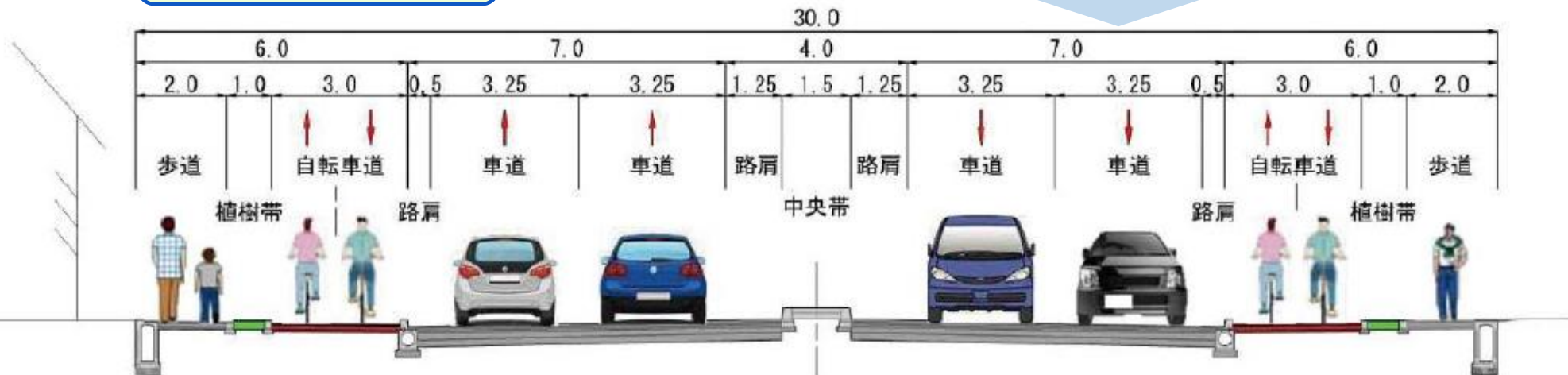
当初計画



○「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン(H24)」を受けて事業実施期間中に自転車道・歩道の計画を見直し

○兵庫県内での先進的な取り組みとして自転車道と歩道を分離

事業後



事業前写真



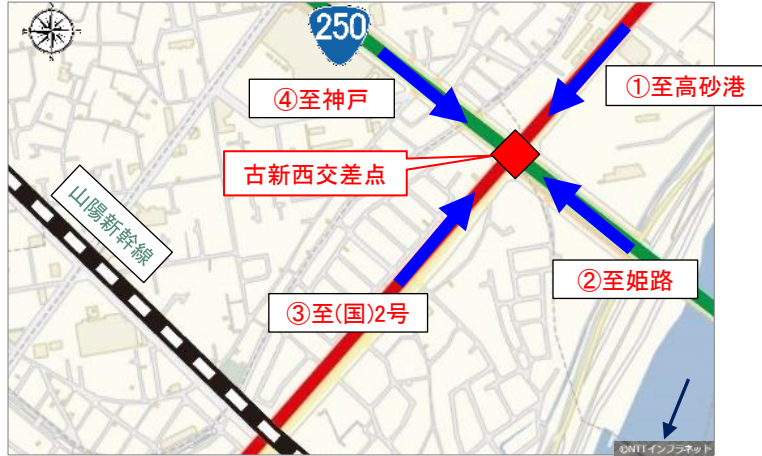
事業後写真

(兵庫県：(都) 沖浜平津線)

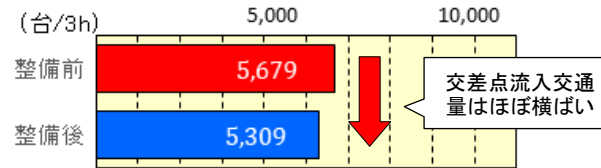


①古新西交差点における慢性的な渋滞の解消

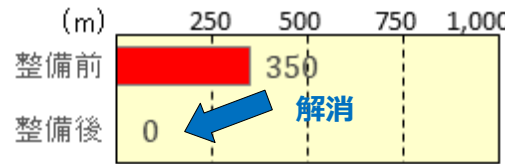
- 全方面行きで渋滞長が改善・解消した
- 沿道住民・道路利用者の6割以上が渋滞の解消を実感



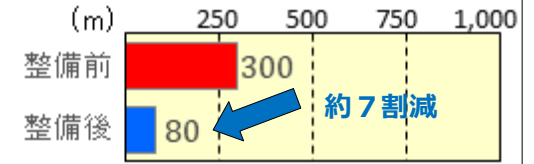
○交差点流入交通量



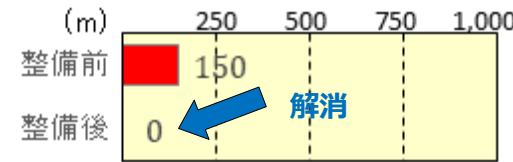
①至高砂港



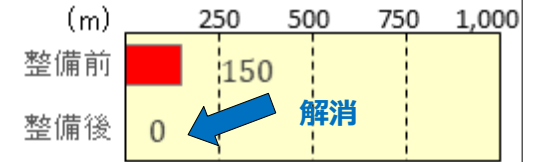
②至姫路



③至(国)2号線

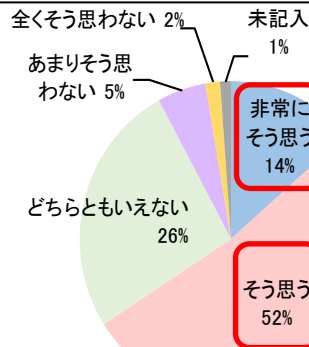


④至神戸



○沿道住民・道路利用者アンケート調査結果(R2.8~9実施) [沿線住民325世帯・道路利用者447人]

設問内容：沖浜平津線の道路整備により古新西交差点、小松原交差点の渋滞が解消したと思いますか。



沿道住民・道路利用者の6割以上が渋滞の解消を実感

○[地域の声]

- ・ 夕方の臨海部からの帰宅ラッシュ時、古新西交差点の東行き((国)250号)の渋滞が緩和された。(道路利用者 60代男性)
- ・ 車線数が増えたことにより、スムーズに走行でき、大変便利な地域になった。(沿線住民 40代男性)

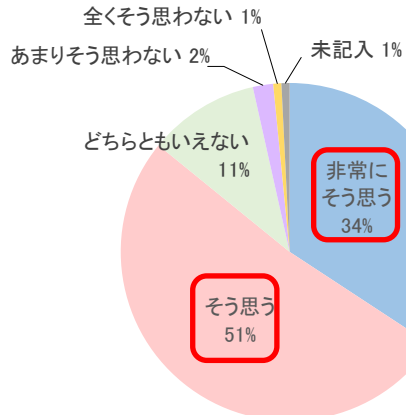
○[周辺事業者の声] 小中学校、交通事業者、企業等14社にヒアリング

- ・ 「渋滞回避のための迂回」や「渋滞を見込んだ移動(時間設定)」がなくなった。(製造業者2社・配送業者1社)
- ・ 道路整備により移動時間が短縮し、時間どおりに到着できるようになった。(バス・タクシー事業者4社)

②安全性の向上

- 自転車道・歩道の整備により事故件数が減少
- 沿線住民・道路利用者の8割以上が自転車・歩行者の安全性の向上を実感
- 沿道住民・道路利用者アンケート調査結果(R2.8~9実施)
【沿線住民325世帯・道路利用者447人】

設問内容：沖浜平津線の道路整備により
歩行者・自転車の安全性が向上したと思いませんか。



沿道住民・道路利用者の
8割以上が安全性の向上を実感

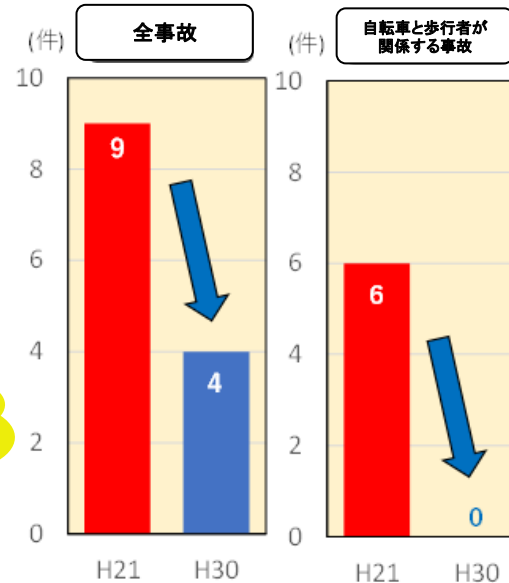


整備前
3.0mの自転車道
2.0mの歩道を整備

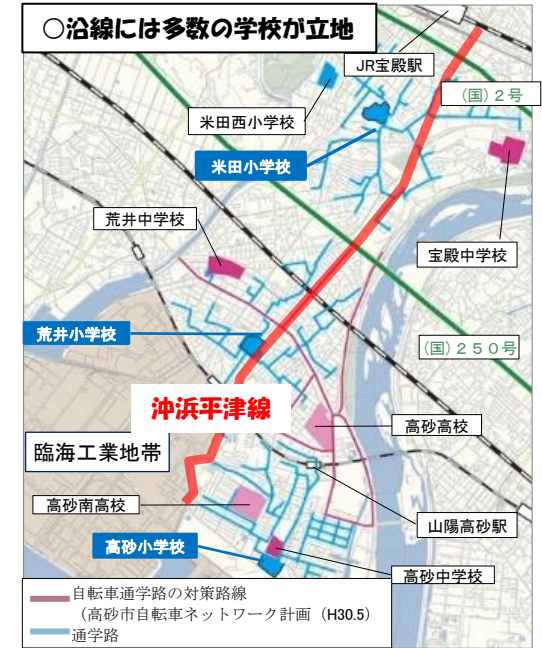


整備後

○沖浜平津線（小松原工区）の事故件数



出展：交通事故総合分析センター



○【地域の声】

- ・以前は歩道が狭く危険であったが、整備後は安心して歩く事が出来るようになった。
(道路利用者 70代男性)
- ・子供が自転車で通っていても安心できるようになりました。
ウォーキングで通る人も増えたと思う。
(沿線住民 30代女性)
- ・沿線事業所に通勤する者、自転車通学の学生にとってはすごく便利になったと思う。
(道路利用者 50代男性)

○【周辺事業者の声】 小中学校、交通事業者、企業等14社にヒアリング

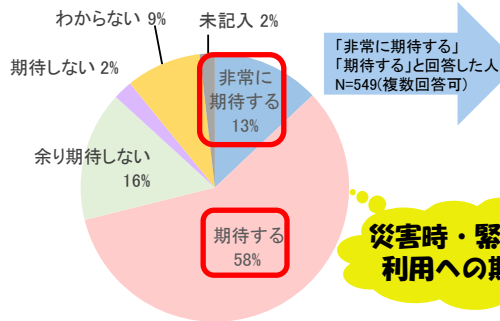
- ・車道は広く、歩道がしっかり区別されているので、安全性が向上し、ストレスなく走行できるようになった。
(バス事業者)
- ・整備後は、歩行者、自転車がよく見えるので存在があまり気にならなくなり、運転しやすくなった。
(バス事業者・配送業者)

③広域ネットワークの形成(緊急輸送路の機能強化)

- 東西の幹線道路を南北に結ぶ緊急輸送道路として安全性・定時性が向上
- 臨海部の物流拠点から東西の幹線道路を結ぶ多車線ネットワークが形成され、物流等の効率化

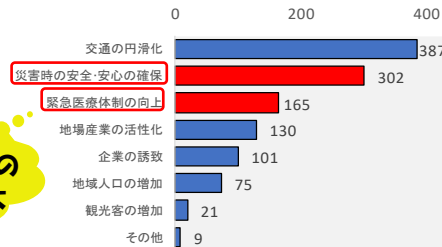
○沿道住民・道路利用者アンケート調査結果(R2.8~9実施)
 【沿線住民325世帯・道路利用者447人】

設問内容：沖浜平津線の整備による地域の発展に期待していますか。

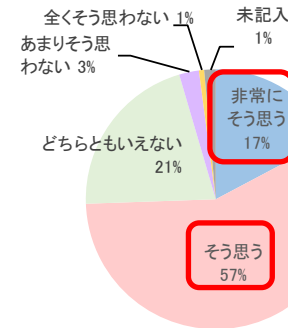


災害時・緊急時の利用への期待大

設問内容：どのような影響を期待しますか。



設問内容：災害時に救助活動や救援物資の輸送に役立つようになったと思いますか。

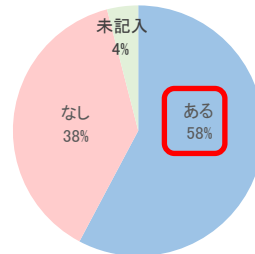


沿道住民・道路利用者の7割以上が緊急輸送路の充実を実感

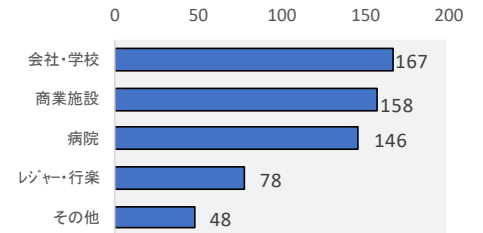
○臨海部からの多車線ネットワーク



設問内容：沖浜平津線の道路整備により整備前に比べて行きやすくなったと感じられる場所はありますか。



沿道住民・道路利用者の約6割が移動の効率化を実感



○[周辺事業者の声] 企業等14社にヒアリング

- ・道路幅員、通行帯が広がったことにより、安全性、円滑化等については改善されたと思う。
 (高砂警察署員)
- ・高砂港から姫路BP、山陽道といった自動車専用道路までのアクセスの利便性が高まった。
 (製造業者 2社)
- ・渋滞の緩和により移動時間が短縮し、配送・営業ルートを変更した。
 (配送業者 1社)

①積極的な情報発信

- 事業の進捗状況や道路事業の効果をパンフレット等の配布により、積極的にPRした。道路事業への関心や参画意識が高まり、整備効果検証のために実施したアンケートの回収率は非常に高かった。

[アンケート用紙]

都市計画道路「沖浜平津線」に関するアンケート調査のお願い

道路整備の効果検証のためアンケートにご協力ください

地域の皆さまには、日頃から道路整備にご理解とご協力をいただき、深くお礼申し上げます。
このアンケートは、今後の道路整備の参考とするため、沖浜平津線の整備効果について地域の皆さまにご意見を伺うものです。沖浜平津線の整備効果は、道路の拡幅による交通量の増加、歩道の整備による歩行者の安全向上、交通量の増加による騒音の増加など、様々な影響があります。ご意見を伺うことで、今後の道路整備に活かさせていただきます。

沖浜平津線の事業目的

- 都市計画道路「沖浜平津線」の整備は歩道が無く、自動車と自転車・歩行者が混在し、歩行者の安全が確保できていない。
- 交通量の増加による騒音の増加が問題となり、地域の社会・経済活動に悪影響を及ぼしている。

都市計画道路「沖浜平津線」を説明

東播磨自動車道から国道10号へアクセスする、東播磨地域の主要な都市計画道路として、道路の拡幅と歩道の整備を行う。歩道から事業区間の歩道幅員は約3.5mの拡幅により、歩道幅員約5.5mの拡幅が完了した。

整備効果

歩道幅員約5.5mの拡幅により、歩道幅員約5.5mの拡幅が完了した。

広域ネットワークの形成

東播磨自動車道と国道10号の接続が完了し、東播磨地域のネットワークが形成された。

渋滞の緩和

交通量の増加による渋滞の緩和が図られた。

自転車・歩行者の「安全性向上」

道路と歩道の間に歩行者用の歩道の整備により、歩行者の安全性が向上しました。

土地利用の変化(地域の活力を向上)

道路の拡幅により、大規模店舗の建設、商業施設の開設等が促進され、地域の活力が向上しました。

対象者	配布数(人)	回収数(枚)	回収率
沿線住民	645	325	50.4%
道路利用者	517	447	86.5%
合計	1,162	772	66.4%

事業効果のPR

②地域とのコミュニケーション

- 沖浜平津線の全線整備完了を祝って開催した完成式典には多くの地域住民が参加し、中学生による吹奏楽の演奏や、園児によるバルーンリリースを行った。



吹奏楽の演奏



バルーンリリース

[パンフレット]



沖浜平津線の歴史(ケヤキ)

(都)沖浜平津線の道路脇にある造り酒屋の庭に樹齢100年を超える巨大ケヤキが2本ありました。平成12年、道路の拡幅工事によって、ケヤキが支障となるため、伐採を前に「ケヤキのためのコンサート」が開催されました。このコンサートをきっかけに、ケヤキは高砂市の保存樹に指定され、交通島に移植して保存されています。今なお、育った土地に力強く根を張って、地域の人々を見守っています。

関連する地域のトピック紹介

○平成29年(2017年)12月17日 神戸新聞